

Tel: 099-285-7285 Fax: 099-285-7286

Mail: ka-kumiai@leaf.ocn.ne.jp HP: <http://ka-kumiai.jp/>

中央執行委員長 ご挨拶 ————— p.1

学長顔合わせ及び団体交渉のご報告 ————— p.1

中央執行委員長 ご挨拶

2023年度全学組合執行部委員長となりました、丹羽です。

昨今、労働をめぐる様々な問題が社会で取り沙汰されており、それに伴い労働組合の果たす役割も年々重要度を増していると感じます。鹿児島大学でも、教育・研究はもとより各種の業務めぐり、労働環境という視点から見ると看過できない問題が山積しており、教職員が安心して働ける場を確立させるために、組合の役割は非常に重要であると考えています。2023年度、私たち組合執行部は、これまでの組合執行部に引き続いて現場の声を丁寧に取り、何が問題かを検証した上で、大学執行部との年2回の直接交渉に臨むことを目指します。以前に比べると組合への加入者総数はかなり減っているのが現状ですが、それは労働に係る問題が解消し、職場が働きやすくなったということを意味するわけではありません。むしろ多くの方が、声を上げるための時間と体力、そして何よりも気力を奪われている状況を日々肌で感じています。しかし沈黙は容認につながります。幸い鹿児島大学では、近年は若手の教職員の方々も組合に加入される方が少しずつではありますが増えており、学長交渉の場でも新鮮な切り口で積極的に意見を述べていただけているのは、大変頼もしく有り難い限りです。職場で感じた雇用に関する疑問や、納得のいかない労働環境に声を上げて下さる方々の勇気を汲み取り、他大学とも情報交換に務め、そして何より大学執行部と粘り強く交渉を継続していくことにより、組合としての機能を存分に発揮できればと願っています。

学長顔合わせ及び団体交渉のご報告

2023年7月26日に、「2022年度第2回団体交渉(学長交渉)」を3年ぶりに対面で行いました。

今回の交渉は国立大学法人鹿児島大学(以下、鹿児島大学)に鹿大教職組前年度執行委員が2023年2月20日に団体交渉申し入れに対し、2023年5月19日に鹿児島大学執行部より書面で回答があり、書面回答を受けての対面交渉で、申し入れから半年後の実施となりました。大学執行部の入れ替わりのタイミングとはいえ、今後は迅速な対応を要求する必要があります。一方で、従来、学長は顔合わせのみの出席で交渉時は退席していたものの、今回は団体交渉にも出席し、実質的にも学長交渉となりました。今回の団体交渉の申し入れは前年度執行委員が行っていたため、前執行委員と現執行委員との混成で対面交渉に臨みました。今回の交渉では、学術研究院制度の問題点と解消、業務量削減を行いつつ成果を高めるための教員の研究教育体制の合理化推進、給料の適切な支給(特殊勤務手当等の増額改定と対象拡大)、有期雇用職員の雇用対応について口頭での交渉を行いました。各部署の教育研究効果を高めるために学術研究院制度へと組織体制を移行したものの、各部署において学術研究員制度を有効に活用できない状況を説明しました。執行部としては学術研究員制度を利用して部署間での交流を進め、分野融合を活発に行っていくことを妨げない方針ということでした。二つ目に教員の研究教育体制の合理化推進として、教員が研究や教育に使える時間を増やすために、業務量の削減を求めました。数値目標に基づく業務削減、新規業務の禁止、業務内容の明示化を提案したものの、大学執行部はデジタル化等による効率化は進めているが、更なる業務削減には困難との回答でした。その他の項目を含め、教職員の働きやすい環境をつくることの重要性は大学執行部も認識しており、今後の交渉を通じて解決策を探っていくことが確認されました。

(書記長 加治佐)